



第 65 回『下方置換（チン狩り）って中学で流行ったよね』

岡崎にサイエンスバーなるものがある。ということで行ってきました。  
オーナーがガチドクターで家ではできないことをモットーとしてやっているらしい。

『サイエンスバーFRACTAL』

愛知県岡崎市羽根町長田 2-1 JR 岡崎駅から徒歩 5 分ぐらい

タクシーのおっちゃんは大抵迷うそうなので  
地図アプリでナビを出したのをおっちゃんに渡して到着

入り口は普通のオシャレバーといった感じで  
看板は化学式まみれでした。

science というよりも chemistry。

こんな煙はなかったですが、いざ入店。



入り口の扉をあけると謎ガスボンベや、絶対に入っちゃいけないと思わせる  
不安感を煽りまくる ☠️ マークがいたるところに。

資材置き場を抜けるとやっとカウンターが見えてきました。  
短い側に 3 人長い側に 7 人ぐらいの小っちゃめのスペース。

19:30 頃に到着したら割といっぱい『予約してますか?』  
と聞かれちゃいました。ど平日なのに。完全になめてた。



21:00 頃まででしたらどうぞ。ギリギリセーフでした。  
ホッとしてたらこの写真みたいな謎論文を渡されました。

メニューです。……まじか。と。もちろん全部英語。

メニュー部分は読めるっちゃ読めるけれどもめんどくさい。  
とりあえず飲み物と、かろうじて読めた <sup>プロシュート</sup>prosciutto を頼みました。



ビーカーに入ったお酒と  
平たいガラスの器に入った生ハムができました。

生ハムを食べるのはピンセット。  
店内の薄暗さも相まって何の肉なのかわからない。

映え好きにはとっても刺さりそうな感じでした。



さてここから、でんじろうの空気砲やビリビリ的なサイエンスショーが待ち受けていると  
わくわくしながらピンセットで謎肉を口に運びます。

.....何も起こりませんでした。あくまでもバー。良くも悪くもバー。  
気になったので聞いてみると、ここは狭いしそーゆー事はしないそう。

サイエンスショーは定期的に岡崎駅などの公共の広いところでやるんだそうです。  
あとテレビで見たドクターがその日いなくて  
下っ端の子がワンオペでやってたのもあるかもしれないですが。

科学的な雑談を下っ端としつつ2杯目。  
TBC（なんとかブレインカクテル）というそれっぽなお酒を注文。  
2人でりんご味とパッションフルーツ味を頼みました。

目の前で実験の如く酒を作る下っ端。  
シロップにアルコールを入れて...ここまでは両方一緒です。と味見を2杯分させられます。

最後に香り付けの香料を1滴落とします。するとあら不思議。  
**な、なんだって～！！りんごとパッションフルーツの全く違うお酒だ～！？**  
透明なコーラとかも同じ仕組みですよ！  
砂糖水に匂いつけるだけで売れるなんてずるいですね！と得意げな下っ端。  
お、おう。でしょうね...と思いつつも悪いと思って、すごいねこれ！と言ってあげました。

そして飲み終わり店内も我々のみになりました。  
下っ端も疲れたのか『お二人はタバコ吸いますか？』と喫煙所へ誘導してきて3人で一服。

店内の科学的な雑談よりも喫煙所でのパチンコの話のほうが盛り上がりましたとき。  
ドクターがいる日はまた違うかもしれないのでまた行ってみます。皆さんも是非！！